

2026年度 環境保護活動報告

環境理念

弘電社は『「創造する喜び」を通して、豊かな社会の実現に貢献します。』という企業理念のもと、社会・地球環境のサステナビリティに貢献する企業であり続けるために、全社的な環境保護活動を実践し、継続的な改善に取り組みます。

株式会社 弘電社 環境活動

株式会社弘電社は、環境理念のもと、環境に配慮した事業活動を推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

また、環境マネジメントシステムの順守及び効果的な運用となるように継続的な改善を進めます。

・具体的には、以下の事項を推進します。

1. お客様の事業活動の質的向上と環境負荷低減の両方でお役に立つよう省エネ対策等のシステム提案を積極的に進めていきます。
2. 法規制及び外部との約束を順守します。
3. 環境汚染予防を目指した活動を展開し、地球環境保護へ努力します。

2026年4月1日

ISO14001の運用

当社では、2002年2月に全社一括でISO14001の認証を取得し、それ以降継続的な改善を進め、現在まで認証の登録を維持しています。認証の範囲は、本社と10支店及びその管理下にある建設工事の作業所です。

環境保護活動の目標については、マネジメントレビュー結果を踏まえ、毎年度初めに『全社環境保護活動計画』を策定しています。また、PDCAサイクルの継続的な推進を図るため、全社・部門・作業所の各単位において、活動計画の策定・実施・評価および改善を行い、環境マネジメントシステムの有効性向上と環境負荷低減活動に取り組んでいます。

環境監査

当社では、ISO14001の認証取得以降、年1回外部審査機関による定期審査を受審しています。

また、外部審査の前に内部監査を実施しています。内部監査の対象場所は、年度初に作成する内部監査年間計画書により決定した部門と作業所で、2025年度は13箇所（うち作業所数は4）で実施しました。

内部監査の結果、指摘等の検出件数は0件でしたが、指導項目1件と推奨事項1件の報告がありました。以上のことから内部監査は有効に機能していると判断しております。

一方、外部審査は、2025年11月に再認証審査を受審しました。審査の結果、指摘及び観察事項は発見されませんでした。組織の環境マネジメントシステムは効果的に運用されていると判定され、2026年1月19日付で「認証の維持継続」を承認されました。

今後も実質的な効果に結び付くよう、継続的な改善を推進してまいります。

2026年度 環境保護活動報告

2025年度の環境保護活動実績

当社では、環境方針を具体的に展開するために明確な環境目的・目標を設定し、その目的・目標を達成するために実施プランを立案して活動しています。目標を達成できた項目については現状維持、又は目標値を上げて活動を継続推進していきます。

※ 2025年度のGHG排出量は、引き続き本社と電力会社との間で非化石証書契約【再生可能エネルギー100%】を締結したことで、本社ビル屋上高圧受変電設備の更新により、CO₂排出量を“120t-CO₂”（289MW h）削減することができました。この取り組みは、当社の脱炭素経営の一環として、Scope2排出量の削減に大きく寄与しています。

自己評価記号



計画通り達成



未達成

テーマ	環境目標	年度目標値	年度実績	状況改善事項 課題等	自己評価
低炭素社会の実現	◆GHG排出量の削減 【目標】 ●昨年度排出量の（1%/年以上）を削減	492 t-CO₂ (GHG排出量)	410 t-CO₂ (GHG排出量) 82 t-CO₂削減	●本社ビル屋上の高圧受変電設備の更新等によりScope2排出量が削減できた。 ●引き続き可能な範囲で節電を実施しCO₂排出量の目標達成に取り組みます。	
スコープ1排出量 201 tCO₂e 排出割合TOP3 - ガソリン 95% - 都市ガス 3% - 灯油 1% スコープ2排出量 209 tCO₂e 2025年度GHG総排出量 410 tCO₂e 51% (Scope 1), 49% (Scope 2)					
環境型社会の形成 (廃棄物の削減)	◆一般廃棄物の削減 【目標値】 ●昨年度排出量の（3%/年以上）を削減	24 t (一般廃棄物)	33.9 t (一般廃棄物) 9.9 t増加	●在宅勤務制度の改定による出社率増加の影響が考えられる。 ●今後は3R活動の意識を高めるなど目標の達成を目指す。	
順法活動の推進	◆順法管理と環境 ◆汚染予防の推進	0 件 (違反件数)	0 件 (違反件数)	●計画通り達成。 ●気を緩めることなく今後も継続して達成を目指す。	
	【目標値】 ●違反件数の発生 0 件 ●クレーム件数 0 件	0 件 (クレーム件数)	0 件 (クレーム件数)	●計画通り達成。 ●気を緩めることなく今後も継続して達成を目指す。	
環境保護活動の推進	◆環境マネジメントシステムの適正かつ効果的な運用 ◆EMSの効果的な運用 【目標値】 ●重大不適合の発生 0 件	0 件 (重大不適合)	0 件 (重大不適合)	●計画通り達成。 ●気を緩めることなく今後も継続して達成を目指す。	